

1. 対象製品

内部床下収納庫（固定式）

略称：CJK 収納庫

2. 標準（共通）化の部位

床下収納庫の交換を可能とする為に守らなくてはならない部位を図1に示す。

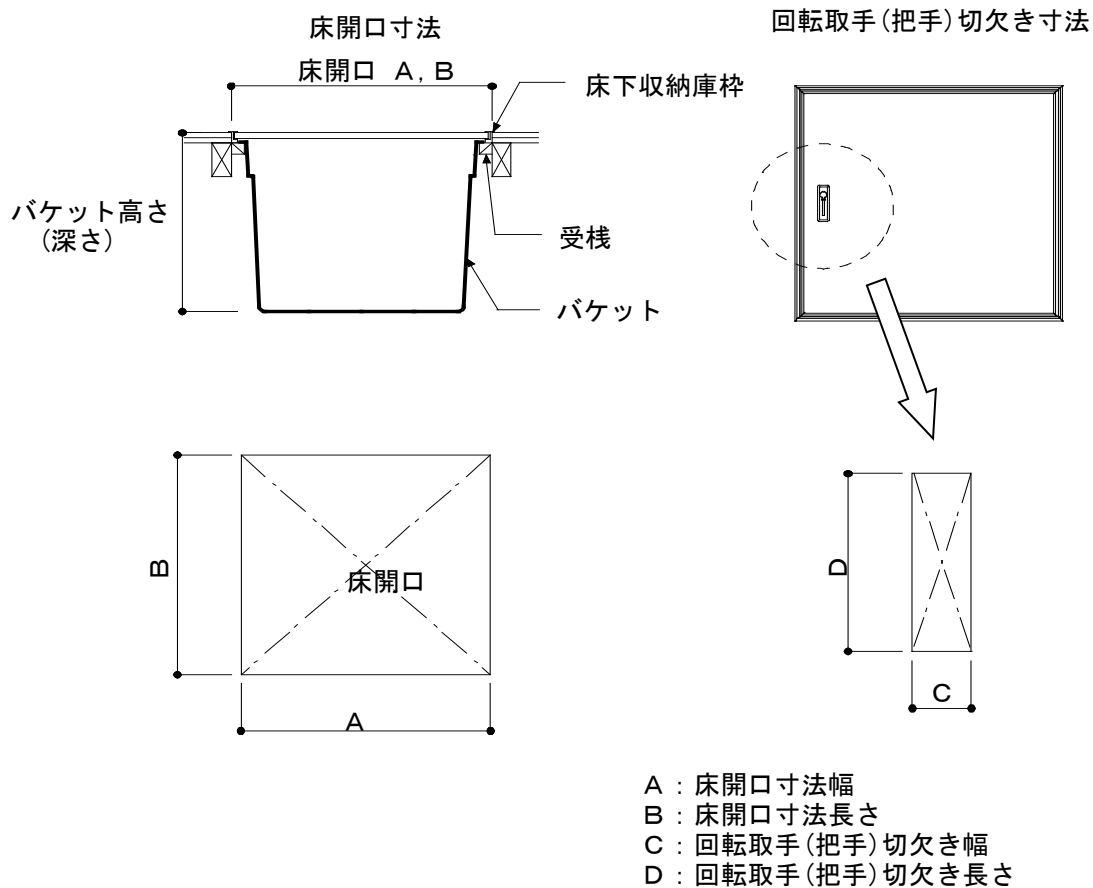


図1－標準（共通）化の部位

3. 寸法・形状

床下収納庫の床開口、床下収納庫の回転取手 (把手) 切欠きの標準寸法を表1、表2に示す。

内部床下収納庫（固定式）はこの寸法に納まることとする。

表1－床開口の標準寸法

単位：mm

項目	タイプ	寸法		
		600×600	600×900	600×1200
A：床開口寸法幅		606		
B：床開口寸法長さ		606	909	1205

表2－把手切欠きの標準寸法

単位：mm

項目	寸法
C：回転取手 (把手) 切欠き幅	23
D：回転取手 (把手) 切欠き長さ	91

4. 表示方法

印刷物・電子媒体などに、該当商品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

- 5.1 床開口内側等に設置する受棧は床下収納庫交換時に枠と合せて交換とする。
- 5.2 床下収納庫枠とバケツはセットで運用とする。
- 5.3 バケツ高さ(深さ)は躯体寸法を確認すること。

6. 解説

- 6.1 床下収納庫枠、及びバケツは各メーカーにより納まり形状が異なる為、受棧、枠、バケツをセット運用とした。
- 6.2 床開口寸法は床仕上げ材(フローリング)等の割付により、@303mmを基準とした。

7. 共通事項

- 7.1 寸法について
 - ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。
- 7.2 交換について
 - ・交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。
 - ※専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

- 8.1 2014年3月20日改訂
 - ・”7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
 - ・符号、書式の統一
- 8.2 2016年4月28日改訂
 - ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
 - ・7.1寸法について記載内容改訂